

2010 JOC 女性スポーツフォーラムに参加して

スポーツ界において女性リーダーの更なる増加と前進を目指し、「2010 JOC 女性スポーツフォーラム」が10月25日に味の素ナショナルトレーニングセンターで開催されました。

このフォーラムの趣旨は、本会と各競技団体が「女性とスポーツ」に関する議題を共有し、解決にむけたネットワークづくりを目的に開催する。という事で、JOC 女性スポーツ専門委員でもある JSAF の倭 千鶴子理事が司会を担当されました。プログラムは、講演と元オリンピック女子選手の方たちのパネルディスカッションでした。

IOC は、性の差別を禁止し、すべてのスポーツ団体にたいして男女平等により、女性の委員を増やすようにと宣言していますが、現状は思わしくない結果しか出ていないようです。

しかしながら夏のスポーツに関しては、ISAF や JSAF でも分かるように他の競技団体でも100パーセント近く、女性役員が入っているという報告が出ています。

男性と女性は、脳の大きさ（男性が少し大きい）、周期性、右脳・左脳を繋ぐ脳梁（女性が神経線の束が男性より20%も太い）が違います。また思考に関する違いや空間認識に対する違い、言語力の違い、構造的にも傾向が違います。そういう違いが男女にはあることから、組織には男性も女性も同じようにならないとすればバランスがとれないという事になるそうです。

一番大事なことは、女性が組織の中で仕事をするという事は何か？目的は何か？自分の役割は何か？という事を常に考えながら組織の中で組織について勉強しなければならないという事です。

女性も経験の中で積み重ね会得し、学習していく事が最も重要です。そのためには、女性も多くの会議に出席して色々なノウハウを学ばなければなりません。

今後、JSAF においても女性役員は、組織や社会に貢献しながら女性アスリートが活躍しやすい環境の整備作りや女性リーダーの育成、前に活躍して引退した女性の発掘等をしなければならないと思います。

ジュニア・高校・大学で登録していた女性も現役をやめると登録しなくなります。登録をやめてしまった女性に色々な形でヨットに関わりも持ってもらい、登録の増加も図らなければならないと考えます。

JSAF レディース委員会
吉留 容子